

「ばんぼん」編集の思い出

《絆を深め「創業100周年記念誌」発行へ》

武田 孝一



はじめに

父の仕事の関係で、私は、国民学校三年生の時に宮田校へ転校した。絶縁オイルの製造場へ、当時の銅線工場から、絶縁物工場への転勤であった。

宮田校での五、六年の頃に、父が会社から「ばんぼん」を持ち帰ることがあり、活字に飢えていた私は、時に難解な文字を勝手に想像しながら読んでいたものである。時折、家族や子弟のページもあって、父に勧められるまま、投稿したことがあり、それらが、活字となって届けられるという喜びも味わっていた。

そうこうする間に、日立工場の総務から「ばんぼん」の生みの親のお一人の高橋市蔵さんが、絶縁物工場の庶務課長さんとして転勤され、後年お会いするたびに、「君のことは、生まれるまえから知っていたんだよ」と、頭の上がらない人がいることを教えられたのであった。

一、「ばんぼん」の改めての出会い

昭和三六年、戦後復興の神武岩戸景気時代、当時、毎年五〇〇人も新入生の入学受け入れがあり、廊下や体育館を仕切つての授業をしていた日専校へ、是非にと請われて、公立高校から中採ということで、わたくしは仕事が変わった。

職員室で、先輩の先生から「もうこの本はご存知でしょうが」といつて渡された「ばんぼん」の当時の中身は正直、これが「茨城地区各事業所文芸部」発行の雑誌？と思わせるものであった。

どうも、これでは当時の週刊誌的な内容と思つたわたくしは、それではと、当時の生徒指導のための寮監室にこもつて夜中まで、大学時代の



「ばんぼん」創刊号表紙

卒論の続きみたいな内容の文を書いた。は社内便で編集部へ送り届け始めた。

それらは、「イギリス浪漫主義と芭蕉の自然観」、「汎神論と土俗思想」みたいな、今思えば全くもって消化不良の文章だったと思う。幾度か掲載が重なったころ、当時の故引地藤蔵編集長(事管課長、俳人)からの説得があり、気が付くと、編集委員の仲間に加えられていた。

二、編集長時代

昭和四五年(一九七〇)六月、私は新設の茨城英語教修所の運営にあたることになり、日専校を去った。勤務場所が日立工場からの至近距離にあつたこともあり、加えて、当時の編集長の鈴木健二さんが、社費留学を控えていたとかの事情があつて、あつという間に、わたくしが第九代の編集長に決まつてしまつていた。それから二三年、日立退社まで最長不倒距離の編集長を勤めるなど、当時は予想もできなかった。

かくして、昼間は、外国人講師との英語での対話、帰宅後は原稿書きと次号のプラン、執筆依頼者の選定などなどの仕事が増えていった。

編集の仕事に加えて、わたくしの双肩に重くのしかかつていた課題があつた。その時まで二三年の「ばんぼん」の歩みはまさに赤字の歴史であり、勤労担当関係管理者から、「いっつ、発行を止めてくれるのですか。これがあつると、毎回、発行の赤字分を遣り繰つての支払いで困つてい

ので」と言われ続けたものであつた。私の答えは、「止めるのはすぐにはできません。でも、〇〇部長・□□課長時代に止めさせられました、といつて歩きますよ。「ばんぼん」にはうるさい先輩が沢山いましてね」と返すと、「うーん、それは困る」といわれ続けた。

その間、わたくしは日立工場全部課長、主任技師以上は強制講読、暇を見つけては系列会社の総務、勤労担当者に頭を下げて歩いての勧誘に つとめた。また紙面には出来るだけたくさんの人々を登場させる、「お茶の間訪問」のページに、工場長、研究所長、病院長をお訪ねして、なまの姿、声を読者、従業員のみなさまにお届けする。さらには、毎号リレー・お届ひつに、出来るだけ若いひとびとに書いていただくという方針を続投し続けた。

取材、投稿依頼などのなかで様々な思い出があるが、ここで、二つほど、思い出に残る「お茶の間訪問」の記事を書いてみたい。

三、取材秘話

A 工場長 編集部「大変お忙しい毎日と思いますが、もし、お暇ができたなら、例えば油絵を描いてみたいとか山登りをされたいとかいうご希望がおありでしょうか」に対し、奥様が「また、工場へ行きたいんですけど」と代わつて答えられた。

B 工場長夫人 「最初のボーナスで何をかうか、という話になりましたときに、毎日必要なものだから、是非洗濯機をといたのですが、洗濯機でビールは冷えない、といわれて、冷蔵庫を買われてしまいました」 B 工場長「いや、そのことはいまでも言われていましたね」が懐かしい。こう気が付くと、毎号発行が三千部、印刷をお願いした当時のH E C

印刷(株)からも、『もう、「ばんぼん」の印刷は手放せません』といわれるようになっていた。

私が編集長になつての直後、当時、小平記念館の常務理事として、会社の歴史やそれこそ、筆書きの古文書の整理に当たつておられた故高橋市蔵さんが、編集部のお助け人として、かつて、日立工場新聞の編集を担当された阿部喜代子さんを送り込んでくださった。このことは、いまでも、感謝しきれないご恩を感じているものである。

おわりに

こうして編集のノウハウを仕事を通じて覚え、人間関係の絆を深め、強めていったことが、日立工場創業一〇〇周年記念誌『大洋わたれ、大空かけれ』語り継ぐ日立の心(二〇一〇)の発行に「ばんぼん」OBの底力として遺憾なく発揮されたと思つている。

そして、「ばんぼん」の読者側にとつても、時に厳しい、困難な会社生活のなかにあつても、一服の清涼剤としての働きをしてきたのでは、と思つているものである。



昭和50年代「ばんぼん」年末取材旅行スナップ(奈良にて、後列右から3人目筆者)

武田 孝一 連絡先
〒316-0014 日立市東金沢町 2-21-3
電話 0294-36-1469
メール: takedaks@future.ocn.ne.jp

同好会活動報告 (1/2)

1. 研修会

平成 27 年度は下記の 4 回の研修会を実施しました。

- (1) 第 64 回研修会 (H27. 5. 28) 46 名参加
日産自動車栃木工場、大谷資料館、大谷観音参拝
- (2) 第 65 回研修会 (H27. 9. 30) 44 名参加
クレハいわき事業所、いわき大王製紙、他見学
- (3) 第 66 回研修会 (H27. 11. 27) 40 名参加
日立製作所旧土浦工場、環境科学センター、他見学
- (4) 第 67 回研修会 (H28. 3. 16) 44 名参加
成田航空科学博物館他見学と成田山新勝寺参拝



日産自動車栃木工場ゲストルームにて

2. 旅行会

日立電鉄(株)との共催で、最適のシーズンを狙い、不定期開催です。ネット会員に対してご案内を送信しています。昨年は真田丸で有名な上田城の千本桜や隅田川の納涼屋形船など、下記の行事を実施しました。今年も魅力ある企画を立案し、多数の参加をお待ちしています。

- 4 月 桜花絢爛～信州桜名所めぐり (1泊の旅)
- 6 月 ゴヨウツツジ群落とステンドグラス館見学
- 7 月 東証 Arrows 見学とお台場・隅田川屋形船
- 10 月 昭和記念公園と武蔵野御陵参拝
- 1 月 古峯神社初詣 (日立電鉄旅行に便乗)



3. 歩こう会

今年度は各回共に天候に恵まれて、気持ちの良いウォーキングが楽しめました。参加者が高齢化してきましたので、どなたも気軽に楽しく参加していただけるように比較的平坦地を選定しています。

これからも、よい季節に新鮮な空気を呼吸し、適度に歩き仲間と会話を楽しむ機会を作って参ります。



- | | | | |
|--------|-------------|------------|------|
| 第 60 回 | H27. 4. 9 | 日立多賀の桜花めぐり | 35 名 |
| 第 61 回 | H27. 6. 11 | 新緑の中根八景を巡る | 58 名 |
| 第 62 回 | H27. 9. 23 | 日立山側ルートを歩く | 27 名 |
| 第 63 回 | H27. 11. 12 | 紅葉の太子の街歩き | 37 名 |

4. 野鳥・自然観察グループ

8 月を除く毎月、主に県北、県央の探鳥地で観察会を実施しています。海辺、河川敷、湖畔、里山などをゆっくり散策しながら、シーズンや場所により様々な野鳥に出会うことができました。平成 27 年度は 10 回で参加者延べ 144 名、1 回平均約 33 種、合計 102 種類もの野鳥を観察しました。

日本野鳥の会ベテラン会員による親切な案内、解説があり、野鳥や野草など大自然の新鮮な発見があります。

初心者大歓迎です。皆様もお気軽にご参加ください。



5. 囲碁の会

勝田地区では大島コミセンで月 1 回(第 3 木曜日)、日立地区では大みか拠点で月 2 回(第 2、4 水曜日)囲碁の会を開催し、お互いの親睦と棋力の向上に努めています。更に、3 ヶ月毎にそれぞれの地区で囲碁大会を開催してその成果を競い合っています。平成 27 年度は、延べ参加人員 353 名、全対局数 655 局でした。囲碁は年齢に関係なく盤上でお互いにコミュニケーションを図りながら進める為脳の活性化に大変有効であります。また楽しみながら老化防止にも役立ちます。囲碁に興味のある方は是非お立ち寄り下さい。



6. 料理教室

料理教室は、月 2 回前半グループと後半グループとに分け実施しております。今年で 16 年目を迎え、同好会の中でも歴史のある会であります。

朝、集合するとまず全員でコーヒーを片手に四方山話から始まります。現役時代では考えられないゆったりとした光景です。その日のメニューは美人の先生から親切丁寧に説明を受けスタートです。本番は真剣そのものです。皿洗いや包丁さばきも板についてきました。なによりの楽しみは自ら作った料理を皆でわいわい食べる事です。楽しいです。入会をお待ちしております。



7. 卓球クラブ

日立会瀬体育館で毎月第 1～3 水曜日の午前中に硬式とシニア向けラージボールの卓球練習をしています。卓球は手軽に始められ適度の運動で楽しみながら爽やかな汗を流せるので健康に役立ちます。また日立市、近郊の市民卓球大会への参加は、卓球仲間との交流・親睦とともに日頃の練習成果を試す良い機会となっています。

卓球に興味のある方、始めてみたい方は日立会瀬体育館へお越しください。



8. デジカメクラブ

デジカメクラブでは毎月第1月曜日に例会を開くとともに、不定期に撮影会を行っています。例会では初心者からベテランが一堂に集まり、更なる表現力の向上を目指して作品を批評しあいます。最近ではスマートフォンの普及により旅先で偶然出会った情景など作品の裾野が広がるとともに、少しずつ新メンバーも入会するようになってきました。

撮影会では旅行会も活用してほぼ月1回のペースで遠野の桜、日立港の花火、昭和記念公園のコスモス、竜神峡の紅葉など様々な写真を撮っています。

活動の成果は5月に支部総会で、11月に多賀市民プラザで発表しました。多賀市民プラザでの写真展には昨年も1,000人を超える皆様にお越しいただきました。



多賀市民プラザにて

9. PC基礎講座

パソコン基礎講座は毎月第2火曜日に開催しています。ここでは快適なパソコン生活のための基礎的な事項について解説し、参加者の困っていることの相談など行っています。

昨年はWindows10の特徴、Office2016、Googleサービス、ネット詐欺・不正ソフトの対処法、最新のUSBやSDカードの紹介など解説しております。皆様のニーズに応じた講座を目指しております。どなたも気軽に参加し、実力向上を図りましょう。ご参加をお待ちしています。



10. 勝田パソコン講座

ワークプラザ勝田で、原則として毎月第4火曜日に開催しております。主に水戸勝田地区の方々を対象に、パソコンの基礎から応用まで幅広く講義を行っています。また、PCに関する「何でも相談」を常時行っており好評を得ています。

さらに毎年1月には恒例の新年会を開催し、反省やら抱負などを語って大いに盛り上がっています。

初心者の方も大歓迎です。多数の参加をお待ちしております。



11. 専門講座

この講座は特定のソフトの習得を目的として、講座開始前にテーマ毎に会員を募り、設定した教本をベースにした講習会です。テーマ毎、毎月1回実施します。現在、第3金曜日にPhotoshopElements13講座(参加者23名)、第4木曜日にExcelピボットテーブル講座(参加者13名)を実施しております。

昨年度はExcel関数講座、ExcelVBA講座、およびPowerPoint2013講座を実施しました。平成28年度はテーマを募集中です。



(Photoshop Elements13 講座の参加者)



(Excelピボットテーブル講座の参加者)

12. ホームページの会

毎月第1火曜日に開催しています。ホームページ・ビルダーを使用して、ホームページを作成、公開、更新することを目的に研修しています。失敗事例からいろいろ学べます。新しく始める方への導入アドバイスもしています。ホームページの話題を中心に楽しく情報交換しております。皆さんの参加をお待ちしております。



13. 写真五七五

俳句・川柳と写真を組み合わせて楽しむ集まりです。毎月第一金曜日の例会では句作の基本についての持ち回り解説やプロの添削例などを参考にしながら、持寄った作品の紹介と合評を行っています。

例会では作品紹介に加えて、ひとつの課題写真に思い思いの句を付ける題詠会(3回実施)、名所旧跡などに出かけて散策しながら写真撮影と句作を行う吟行会も行いました(今回は水戸市植物公園で深まりゆく秋の情景を詠みました)。また11月開催のデジカメクラブ、野鳥・自然観察グループとの合同写真展に51作品を出展しました。皆さんも気軽に参加してみませんか。



同好会行事に参加して



「歩こう会」 一瀬 武郎

私は、その土地の風物、歴史、環境等の関連で「行って、見て、知りたい」と思うことが、しばしばあります。「歩こう会」は、この要素を実に良く凝縮し、季節や話題を適合させたコース設定が行われており、良くこの場所を上手に見つけられた、と驚かされます。配布される資料も、大変参考になり、行く前、帰宅後の楽しみも増加します。日頃、見過ごしている場所も、参加して初めて見識を深めることがあります。私は、ひたちなか市在住ですが、第61回「新緑の中根八景」に参加して実感しました。あまり利用しない「ひたちなか海浜鉄道」の乗車も、貴重な体験でした。

久しぶりの方、顔馴染みの方とお会いして、お互いの近況や情報を交換しながら歩くのも楽しみです。疲れを残さず完歩出来る、最適な距離設定も良好です。全くの屋外行事で、天候や道路事情を配慮する世話人のご苦労は大変なことです。今後も、楽しいコース紹介があるのを、心待ちにしている一員です。



「囲碁の会」 山出 毅

日立に来て56年が経過しました。囲碁は郷里で父兄と友人の対戦を五目並べと違うものだな！と思っていた。日立に来て何か趣味を！の声があり、それならと世界に通用するゲームを選んだ。以来、今日まで多くの19路盤を挟み「手話」を嗜みました。サッカーに明け暮れていた学生時代と雲泥の感があり自分でも

驚いています。最近、夏山とジムの合間に新聞掲載の棋譜を並べたりして勝率50%を目指しています。「囲碁と脳の働き」(和田博著)を見て勉強を始めました。ニュースではAI(人工知能)が昨10月中国出身の欧州王者に5戦全勝し、今度は3月9日から韓国の李9段と対戦するとのこと。「結果や如何に！」(編集注：4勝1敗でAIの勝利)

この囲碁の会が「大みかクラブ」での開催となり参加者が増えてきたことは大変嬉しいです。末永く続くよう祈念します。



「PC基礎講座」 小口 伊佐男

パソコンとは結構長いお付き合いをさせて頂いていると思っているが、情の浅い事もあってその割には深いお付き合いになっていない。時には都合によりお付き合いを減らそうかと考えた事も。そんな時、仲を取り持ってくれているのが「PC基礎講座」。

私のような技術的には全くの初心者から高度な技術を使いこなすベテランまで、誰でも結構気楽に参加できる講座だと思っている。2月9日のPC基礎講座は正にその典型であった。何でも相談では、事前に参加者から出されていたり当日出た質問、内容の範囲やレベルの幅は広がったが、講師の万全な事前準備と豊富な知識により、実に判りやすい解説とQ&Aであった。

本題の「パソコンイライラ撃退法」の講座では、イライラのテーマもさることながらその対策法では、実際に使う・使えるは別としても、「えっ！」と思える様な「目から鱗」の連続であった。

講師や受講者の平均年齢は毎年約1才上昇という現実だが、共に長いお付き合いが出来るよう願っている。

支部からのお知らせ

*第65期 第2回 日立社友クラブ理事会報告

- 開催日：平成28年3月9日(水)
議事：
・会員候補者から88名が入会を承認され、会員数は6,527名となった(前年同期比+119名)。
・社友名簿は、2年に一度配布されているが、個人情報保護の為、今年から社友クラブ総会の出欠確認葉書で希望者にのみ配布されることになった。

*平成28年3月 茨城支部役員会報告

- 開催日：平成28年3月10日(木)
議事：
・新入会員10名が承認され、会員数は1,073名となった(前年同期比-15名)。

*平成28年3月 同好会幹事会報告

- 開催日：平成28年3月15日(火)
議事：
・会員数は、451名となった(前年同期比-4名)。

*茨城支部総会の出欠確認の葉書について

- 経費節減の為、昨年同様今年も茨ネット会員には葉書を同封せずに、メールで出欠確認と欠席者の近況連絡のお願いをしますのでご協力をお願いします。

茨城支部新入会員勧誘のお願い

会員の高齢化に伴い会員数が減少方向にあります。どうか皆様からOB会等で各同好会の活動をPRして頂き、親睦の和の拡大にご協力をお願いします。

日立理科クラブからのお願い

「子ども好き・科学好き・モノづくり好き」な新規会員を募集しています。学校へ出向いて理科実験等の授業のお手伝いや、中学生のための理数アカデミー特別授業、工作教室の指導等を通じて子ども達から笑顔を貰っています。お蔭さまで日立市では「理科好き」な子どもが全国平均を大きく上回っています。次の時代を担う子ども達のために、是非皆さまの力をお貸しください。

連絡先：日立理科クラブ TEL・FAX：0294-24-3104

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

Table with 4 columns: Name, Date of Death, and Age at Death. Includes names like 小野寺 敬, 川崎 光彦, etc.

同好会の行事ご案内（5月～7月）

1. 第65回歩こう会【高萩“文化の里”を歩く】

高萩市郊外の穂積家住宅、松岡城址、童子の里などを巡り、新緑の香りと、雰囲気を肌で感じられるコースを計画しました。皆さんと共に初夏のウォーキングを楽しみましょう。

- ・開催日：平成28年6月9日(木) 雨天6月23日(木)
- ・集合：高萩スーパーモール駐車場
- ・コース：高萩スーパーモール出発 10:15→穂積家住宅→たつご味噌店→松岡城址(昼食)→就将館→お屋敷通り→高橋家の門塀→高萩スーパーモール着 13:30 解散
平坦地 6.2km
- ・持参品：弁当、飲物、雨具等
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：6月2日(木)
- ・申込先：須江 二郎
Tel/Fax：0294-53-5901
E-mail：j-sue@nifty.com

2. 第68回研修会

【日本科学未来館、東京臨海広域防災公園、他見学】

オバマ大統領、メルケル首相など外国要人が来日時に見学されたお台場にある日本科学未来館や、東京の基幹的防災拠点となる有明にある東京臨海広域防災公園と本部棟、日本を代表する建築家・丹下健三氏が設計したフジテレビ本社ビルを見学します。

皆様の参加をお待ちしております。

- ・開催日：平成28年6月16日(木)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大甕支店前) 7:00
日立電鉄交通サービス南営業所 7:15
- ・帰着：大甕駅前 18:30 頃の予定
- ・会費：6,500円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：4月30日
- ・申込先：石田 和夫
Tel/Fax：0294-34-0209
E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

3. 定例行事予定一覧（開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。）

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考
		5月	6月	7月			
野鳥自然観察グループ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	16(月)			大北川	9:00～	参加費:¥300/回 原則雨天中止
			20(月)		御前山	7:00～	
				18(月)	栗原	7:00～	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 080-3443-3577 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	11(水)	8(水) 大会	13(水)	大みか拠点	10:00～ (大会 9:30～)	参加費:¥100/回 大会:¥500
		25(水)	22(水)	27(水)			
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	19(木)	16(木)	21(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	9(月)	13(月)	11(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1700/回
		23(月)	27(月)	25(月)			
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	11、18 25(水)	1、8 15(水)	6、13 20(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥4500/年
デジカメクラブ	若島喜和 0294-24-2425 wakasima@net1.jway.ne.jp	9(月)	6(月)	4(月)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	武田孝一 0294-36-1469 takedaks@future.ocn.ne.jp	6(金)	3(金)	1(金)	大久保交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	10(火)	7(火)	5(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥200/回 昼食別途
	基礎講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	17(火)	14(火)	12(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	24(火)	28(火)	26(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	Lightroom講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	20(金)	17(金)	15(金)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
HTML講座II		26(木)	23(木)	21(木)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む

注) 旅行会(連絡先:安田 出)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

新年度を迎え、同好会行事に参加しませんか!

年会費 1,000円(行事参加費はその都度別途)で上記のどの行事にも参加できます。
シニアライフを楽しく、より充実したものにするために、趣味の輪を拡げてみませんか。

編集後記 川村さんの随筆から、絵を描く喜びには旅をして、その土地、自然、歴史、料理などに接する楽しみが含まれます。武田さんの会員投稿では、「ばんぼん」編集長としてのご苦勞と、その成果に敬意を表すとともに、編集に携わる私たちは支部便りの内容充実に一層邁進します。同好会活動の盛んなること、喜ばしい限りです。5月の総会へ出席をお願いします。 **長島 重和**